近畿圏
関西支社　〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島2-2-2 大
兵庫支局 TEL.06-6233-2900　京都支局 TEL.06-6233-290
ご購読のお申し込みはお近くの朝日新

近畿・四国

採用活動が本格化

日産系11社が説明会

2016年春入社予定のディーラー採用活動が本格化してきた。近畿・四国地区の日産販社11社は23日、梅田スカイビル（大阪市北区）で合同説明会を開いた＝写真。例年より3カ月遅れの3月1日にスタートを切った今年の就職戦線。活動開始時期が後ろ倒しとなった影響もあり、解禁直後から学生の動きは早く、同セミナー参加者数は前回（14年1月）比で約3倍に上った。短期決戦に向けて多くの学生が「ロケットスタート」を切ったかたちだ。

近畿地区から日産大阪、兵庫日産、日産プリンス兵庫、京都日産、滋賀日産、奈良日産、日産サティオ奈良、和歌山日産、日産プリンス和歌山の9社と、四国地区から徳島日産、日産サティオ徳島の2社が参加した。CA（カーライフアドバイザー＝営業スタッフ）を中心に、一部の販社ではTA（テクニカルアドバイザー＝整備受付スタッフ）も募集した。

説明会では日産自動車が全体説明を行った後、各社が説明ブースを構え学生を迎え入れた。また、大手就職情報サイトの協力を得て「エントリーシート対策講座」や「面接マナー講座」など就職活動に役立つガイダンスを実施。前回より収容能力が大きい会場で実施したことで、より多くの学生が集まった。

会場では女子大生の姿が目立った。日産陣営は女性を対象とした店舗「レディファースト」の推進や「DAYZ（デイズ）」シリーズ導入に伴う軽自動車ユーザーの拡大に伴い女性採用を積極化している。

好景気や人材不足を背景に学生優位の「売り手市場」となり、企業側としては採用環境がより厳しくなる見通し。ディーラー採用担当者は「（自動車業界に関心を持った）感度の高い学生にすばやくアプローチし、内定につなげていきたい」と話す。

尼崎市の燃料電池自動車納車式

神戸市のミライ導入式典

到来 水素車会

一翼を果たせるのでは」と挨拶した。兵庫トヨタの瀧川高章社長は「燃料電池車は水素と酸素を融合させたエネルギーで走らせる、まさに究極のエコカーだ。環境モデル都市を志向する尼崎市に最適の車ではないか。これを契機に水素社会の輪が広がることを期待している。昨年にFCV普及促進協議会を立ち上げ、今回はミライを導入した。今後水素ステーションの整備にも取り組みながら、多くの市民にFCVを見る機会を作り、需要促進に努めたい」と挨拶した。

トヨタ自動車の佐藤康彦常務役員は「神戸市のいち早い導入に感謝したい。水素社会の実現は長い目で取り組む必要がある。各自治体や地域社会の理解を得ながらスクラムを

大阪交通災害遺族会に浄財寄付

大リ協

大阪自動車リサイクル協同組合の埜村岳史理事長（東大阪市・埜村自動車商事社長）は20日、大阪交通災害遺族会（大阪市中央区）を訪れ、福原美知子理事長に交通遺児への浄財10万円を手渡した＝写真。大リ協組が同遺族会に寄付するのは昨年に続き2回目。

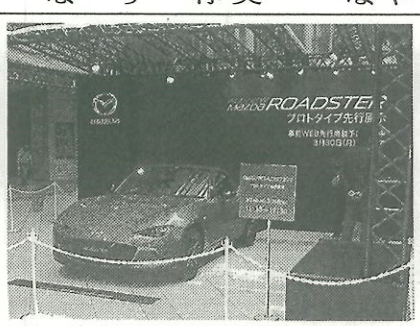
大リ協組は設立10周年となった昨年の記念事業として、同遺族会に浄財を寄付した。その後、組合員事業者や賛助会員を含め25社に募金箱を置き、1年間浄財への協力を募った。今回は、募金で集まった分と組合費の一部を合わせ寄付した。

埜村理事長は「自動車業界に身を置く者として交通遺児救済は社会的責任の一つ」とし、来年以降も寄付活動を続ける意思を示した。

ロトタイプを展示

マツダ、なんばパークスに

大阪の中心の難波の商業施設に発売前のマツダのオープン2シーター「ロードスター」が登場した。マツダが24～26日に大阪市浪速区のなんばパークスにプロトタイプを展示した＝写真。多数が集まる場所に展示することで注目を集めた。



マツダでは20日から30日まで特設サイト内で先行商談の予約を受け付けている。そのユーザーに先着順で各販売店での先行商談を案内する。大阪でのお披露目イベントで受注拡大につなげていく。

ロードスターは今回のモデルが4代目。省燃費技術「スカイアクティブ」を採用し、エンジンを1・5リットルにダウンサイジングし、現行モデル比で100キログラムを超える軽量化を実現して6月に登場する。

ピットイン
ダイ率タ現商
治郎会長。5月だけを専門に行タ「あゆみの店」、施設（PDI）ロス大阪和泉」立地する。メーした車をそのまま届けることが可西回送の手間、

和歌
会
副会
副会
専務理